



## 詫中人権スローガン作成中！

現在、詫間中学校では、各クラスで「詫中人権スローガン」を作成中です。もう、クラスの作品が決まったところもあるようですが、それぞれのクラスで「人権」を大切にするための標語を考えてくれていることでしょうか。ところで、みなさんは「スローガン」の意味を知っていますか。

### スローガンの意味

「団体や運動の主張や目標を強く印象づけるために、効果的に要約した文章。標語。」（大辞林）

簡単にいうと、「みんなで目標を決めて、それを実現しようとするときの合言葉」といえそうですね。合言葉だから、短くわかりやすい言葉でまとめることが大切です。5・7・5の字数にするなど、言葉の調子がよいことも大切な点といえます。それでは、今、詫中にあるスローガンについて、振り返ってみましょう。



◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆

生徒会スローガン、「NO LIMIT～明日は、きっと、できる～」

毎日学校に来るとき、正門に入りながら目にしていますね。このスローガンを見たとき、どんな気持ちになりますか。苦しいときに「もう無理」とあきらめずに「やれるだけ、やってみよう!」とがんばるための、今年の詫中生の合言葉です。2学期になった今、再度しっかり胸に刻んで生活していきたいものですね。

◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆

自転車安全通行標語、「自転車は、乗れば車の仲間だよ」、「夕暮れは、気をつけ 落ち着け ライトつけ」、「守ろうよ 交通規則とみんなの命」、「赤止まれ 青進め 黄色は一応止まっとけ」

この標語は、昨年の10月に詫中生からアイデアを募ってつくりました。改めて見返してみると、自転車の安全な乗り方を呼びかける巧みな作品ばかりですね。



◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆

最後に、「詫中人権スローガン」を紹介します。現在、掲示しているスローガンは、2階貫通ろうかの窓ガラスに貼っています。通路側から見ると15枚の「人権標語」ですが、その裏には、「みらいにひろがるみんなのえがお（未来に広がるみんなの笑顔）」の15文字が大きく書かれています。このスローガンは、3年前の12月に行われた「人権集会」で発表されました。そして、その場で、笑顔あふれる学校をつくることを全校生で確認しました。

今年は3年ぶりに「詫中人権スローガン」を作成します。人権を大切にする学校づくりのための合言葉です。

「人権」が大切にされている学校では、みんなが「安心」して「安全」に「自信」をもって生活しています。そのためには、どんな合言葉がいいのでしょうか。知恵を絞って、詫中生の「合言葉」を考えてください。



3年前の人権集会での発表のようす